

昭和50年～53年（1975～1978）

永久建築校舎の建設

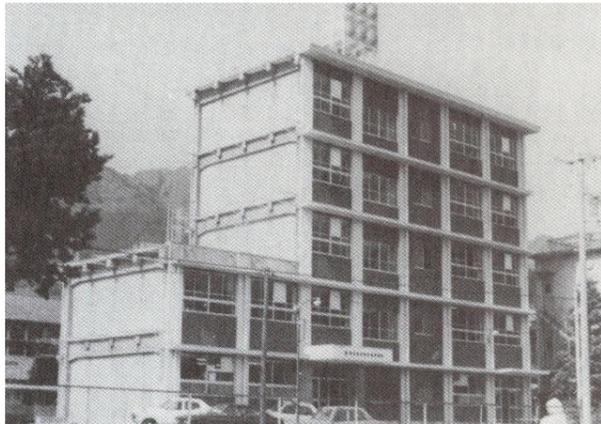
木造建築の旧校舎に代わり、鉄筋コンクリート校舎が建設されました。県下唯一の5階建て校舎でした。

永久建築校舎の建設

現在ではどこの学校もコンクリート造の校舎ですが、当時は多くが古い木造校舎でした。老朽化が進み、雨漏りや、鳩やネズミの害、腐食などで学校生活に支障があり、永久建築化は生徒や先生の念願でした。校舎は東側から順に1期から4期に分けて建設されました。現在の校舎に見られる廊下の継ぎ目は、その名残です。



第2期工事（5階建部分2年生昇降口まで）



第1期工事（現校舎の正面玄関まで）

校舎改築第2期工事完成

工費九千八百二十万円、面積一千五百五十九米、工期およそ八か月にして第2期工事が完了し、三月より使用が開始されました。

第二期工事の完成によって普通教室十七が新校舎で確保され、これに対応するだけの危険校舎が取り壊されています。が、校舎改築、学校環境の整備のあゆみはこれ程道の程の半ばにさしかかったところです。全てが完了しないと、機械室の施設が遅れ、ストロブ、給湯などに不便をきたし、無駄を重ねます。木造の危険校舎で、普通教室と音楽室と美術室を使用しなければならず、さらに北側には、特別教室や格技場などが、運動場予定地の真ん中に取り残され、狭い運動場がより使いにくく効率が悪くなっています。

これらを解決し全機能を発揮するためにも、第三期工事の着工の一日も早いことが期待されます。

育友会報「広報しました」より

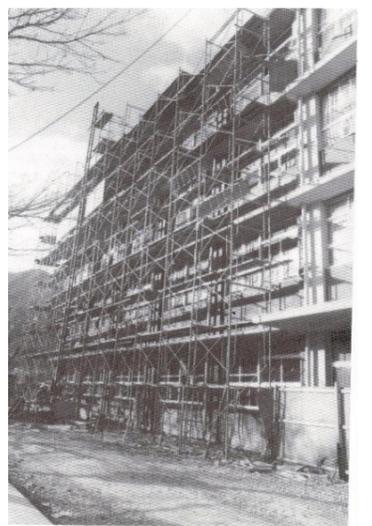
※波線部は「旧校舎」のことです



第3期工事（5階建部分1年生昇降口まで）

校舎改築余話

当初の「校舎改築計画」は、現校舎の位置より北側において鉄筋コンクリート4階建2棟でした。県の担当技師と建築設計委託業者が来校し、「校庭全体が小さく運動場が狭くなるので5階建一棟で施工したい」と話しがありました。育友会と協議して「校庭最北のハンドボールコート付近に4階建3棟または円形校舎を」と要望しましたが、5階建てが既定の方針とされ、現校舎が施工されました。



第4期工事（4階建部分）



新校舎建設と同時に進む旧校舎の解体工事